



この家は私の感性をつつみ込んでくれる。

古都の町並みに埋没させることなく、自己の感性に忠実にデザインした外観
外に閉じ、エクステリア、インテリアを統一的に演出
求める宇宙を手に入れる

Earnest architects

右上/キッチンドイツ製のボーゲンボールを採用しており、シンプルな空間に存在感を与えています。右下/ふたつの曲線を組み合わせた壁を前面に配置し、京都住宅地の景色に埋没しないよう印象強いモダンデザインを目指した外観。左/インナーアプローチ(写真左)、中庭(写真右)に向けて開かれたリビングは、周辺環境に影響されない演出された空間。オーナー拘りのインテリアと調和し個性を内に収めた空間は、セキュリティーにも機能しています。